分科会活動報告

環境過敏症分科会－2025年度活動報告

北條祥子[1）2）] 水越厚史[3）] 黒岩義之[4）5）]

1）東北大学大学院歯学研究科，2）尚絅学院大学
3）近畿大学医学部予防医学・行動科学教室
4）帝京大学医学部附属溝口病院脳神経内科・脳卒中センター
5）財務省診療所

Report of the Environmental Sensitivity Subspecialty Meeting（2025）

Sachiko Hojo[1）2）] Atsushi Mizukoshi[3）] Yoshiyuki Kuroiwa[4）5）]

1）Tohoku University Graduate School of Dentistry
2）Shokei Gakuin University
3）Department of Preventive Medicine and Behavioral Sciences, Kindai University Faculty of Medicine
4）Department of Neurology and Stroke Center, Teikyo University School of Medicine, Mizonokuchi Hospital
5）Department of Medical Office, Ministry of Finance

【分科会設立の背景と目的】

近年、先進国を中心に、環境過敏症（環境不耐症）と呼ばれる健康障害を訴える人が急増しており、早急な病態解明や予防対策が求められている。環境過敏症とは通常では問題にならないような身の回りの微量な化学物質（室内空気汚染物質・受動喫煙・医薬品・殺虫剤・芳香剤・柔軟剤等）、生物的要因（カビ、ダニ、花粉、ウイルス等）、物理的要因（音、光、地震、低気圧、パソコン・スマホ・MRI装置等からの電磁場など）により、多器官に多彩な症状が現れる健康障害の総称である。その代表例はシックハウス症候群、化学物質過敏症、電磁過敏症であり、アレルギー疾患と密接に関係していることはよく知られている。しかし、本症は種々の要因の複合的な影響で発症すると推定され、その病態は科学的に未解明な部分が多い。

日本臨床環境医学会環境過敏症分科会（以下、

本分科会）の目的は国内外の研究者と共同研究や情報交換を行いながら、環境過敏症の科学的に未解明な病態を解明し、診断基準の確立、治療法・予防法の確立をめざすことにある。なお、本分科会は室内環境医学会の環境過敏症分科会と協力体制を組んでいるが、両分科会はそれぞれの母体学会の特色を生かしながら活動している。現在、本分科会では“環境過敏症の病態解明、診断基準と有効な治療法の開発”を主として検討し、室内環境学会環境過敏症分科会では、“室内環境改善などの発症予防法の確立や認知度を高めるための活動”を主として検討している。以下に、2025年度の活動を報告する。

【2025年度の活動】

１．第33回日本臨床環境医学会学術集会時の活動

１．１　研究発表：多くのメンバーが分科会目的に沿った研究成果を一般演題として発表した。

１．２　シンポジウム「疫学・臨床・社会の３次元から見た環境過敏症研究update　～病態解明、診断現場の実態、診断と治療の最前線～」を開催

場所：東京科学大学大岡山キャンパス西９号館デジタル多目的ホール

主催：日本臨床環境医学会・環境過敏症分科会

後援：室内環境学会・環境過敏症分科会、生活環境と健康研究会

企画・司会進行：北條祥子、黒岩義之、渡井健太郎、水越厚史

<本シンポジウムの開催趣旨>

近年、世界的に本症と幼児・児童生徒の登園登校障害や行動障害との関係が報告され、注目され始めている。日本でも香料過敏（香害）など化学物質過敏症状で不登校になる児童生徒の増加、また、デジタル教科書導入後に電磁過敏症状で不登校となる児童生徒の増加が報告され始めているが、その実態は不明である。日本では欧米諸国と比べると、本症に対する医療関係者・研究者・一般市民の認知度が低く、本症を診断・治療している医療機関は非常に少ない。そこで、本分科会では、昨年度から、子ども達の本症患者の実態を解明すると同時に、本症に関する認知度を高めるために、「子どもの香害および環境過敏症状に関する全国規模の実態調査」を開始している。本シンポジウムは本症に対する認知度を上げていただく目的で企画した。

<プログラム>

開会の挨拶　北條祥子（環境過敏症分科会代表）　10：00-10：03

第１部：環境過敏症の疫学update：子どもから成人までのデータ解析　10：03-10：43

１）永吉雅人（新潟県立看護大学准教授；情報学）：子どもの「香害」と環境過敏症状に関する全国調査の中間報告～香害および化学物質過敏症状・電磁過敏症状に関する地域別結果～

２）寺田良一（明治大学名誉教授；環境社会学）：子どもの「香害」および環境過敏症状に関する全国調査：香害（香過敏症状）の解析結果

３）北條祥子（尚絅学院大学名誉教授；環境医学/疫学）：子どもの「香害」および環境過敏症状に関する全国調査：化学物質過敏症状と電磁過敏症状データ解析結果

４）水越厚史（近畿大学医学部予防医学・行動科学教室准教授；環境医学/疫学）：成人の環境過敏症状に関連する環境因子の調査

第２部：基調講演　10：43-12：08

坂部　貢（千葉大学予防医学センター特任教授，臨床環境医学）：環境過敏症臨床の源流を求めて

第３部：環境過敏症の臨床update：診療現場の実態、診断と治療の最前線　11：08-12：08

１）小倉英郎（医療法人高幡会大西病院院長；小児科学/臨床環境医学）：化学物質過敏症の小児の現状とその対策

２）角田和彦（かくたこども＆アレルギークリニック院長；臨床環境医学/アレルギー学）：

本クリニックの環境過敏症患者の現状と今後の展望

3）平久美子（東京女子医科大学附属足立医療センター非常勤嘱託；麻酔科学/臨床環境医学/アレルギー学）：香害による神経障害性疼痛を訴える化学物質過敏症患者の治療

4）近藤哲哉（関西医療大学教授；心療内科学/東洋医学）：環境過敏症患者の生体電位実測と鍼灸治療の有効性

5）渡井健太郎（近畿大学医学部予防医学・行動科学教室講師,臨床環境医学；臨床環境医学/アレルギー学/呼吸器学）：環境過敏症における神経学的介入の可能性

総括討論　12：08-12：27

黒岩義之（帝京大学医学部附属溝口病院脳神経内科客員教授・脳卒中センター長；神経内科学/脳科学）：脳神経内科専門医からみた環境過敏症の臨床像と発症メカニズム：オピニオン

閉会の挨拶　黒岩義之（環境過敏症分科会副代表）
12：27-12：30

1．3　合同交流会を開催（室内環境学会・環境過敏症分科会と合同開催）

日　時：2025年６月22日（日）11：50～12：50
場　所：blue terminal the restaurant
内　容：昼食を会食しながら、全員が自分達の研究を紹介し合い交流した。
参加者：26名（台湾から６名の参加、新メンバーとして大黒亜美先生参加）

2．「香害および環境過敏症状に関する全国調査」の中間データを解析した結果を公表した。

分科会活動の一環として、「香害および環境過敏症状に関する全国調査」を開始することを決定した。そして、実行委員会を結成し、何度もオンライン会議を重ねて、２つのWeb調査票と調査依頼用紙、①保護者記入版（幼児・小中学校児童対象）、②本人記入版（高校生以上対象）を作成し、以下の様な内容で開始している。今年度はその中間発表を行った。

2．1　本調査研究の目的

「香害」および環境過敏症の発生予防対策を考えるために、国際共通調査票（簡略版）を用いて、環境過敏症患者、関連疾患患者、および対照群（健常者）を対象に調査研究を実施し、以下の目標の達成を目指す。

1）「香害」および環境過敏症に対する認知度を高める（医療関係者、一般市民）。2）「香害」および環境過敏症状を訴える若年世代（幼児・小学生・中学生・高校生・大学生など）の実態を明らかにし、その発症予防対策を提案する。3）「香害」および環境過敏症状発現と「現在および過去に医師に診断されたことがある疾患」との関連性を検討する。4）「香害」および環境過敏症状発現とストレスの程度・ストレス対処能力の関連性を検討する。5）「香害」および環境過敏症状発現に関して、日本と台湾の実態を比較する。6）環境過敏症とアレルギー疾患や他の関連疾患関連疾患患者（脳脊髄液漏出症/脳脊髄液減少症、線維筋痛症、難治性片頭痛、感覚過敏症、心身症、視床下部症候群など）との関係を明らかにし、環境過敏症の発症メカニズムを解明する。7）化学物質過敏症・電磁過敏症の病態を解明し、その有効な治療法・予防法の確立を目指す。

2．2　調査研究の方法

調査対象：①幼稚園児～中学生（保護者記入版調査票）、②高校生～成人（自己記入版調査票）
調査期間：尚絅学院大学倫理審査承認（2024年５月７日）後～2028年３月31日
調査方法：Web調査
問合せ先：新潟県立看護大学　永吉雅人
（E-mail：env-hs24@niigata-cn.ac.jp）

倫理的配慮：尚絅学院大学の倫理委員会の承認を得て実施（承認番号：2024-003）

2．3　調査研究体制

＜研究責任者＞
永吉雅人（新潟県立看護大学　准教授）
＜研究統括者＞
北條祥子（尚絅学院大学　名誉教授, 東北大学大

学院歯学研究科研究員）

＜共同研究者＞

坂部　貢（千葉大学予防医学センター　特任教授, 日本臨床環境医学会理事長）

東　賢一（近畿大学予防医学・行動科学教室　教授, 室内環境学会理事長）

黒岩義之（帝京大学医学部附属溝口病院　脳卒中センター長）

水越厚史（近畿大学医学部予防医学・行動科学教室　講師）

浦野真弥（環境資源システム総合研究所　所長）

小倉英郎（医療法人高幡会大西病院　院長）

角田和彦（かくたこども＆アレルギークリニック　院長）

加藤貴彦（熊本大学医学部大学院生命科学研究室　教授）

川瀬晃弘（東洋大学経済学部　教授）

近藤哲哉（関西医療大学　教授）

鈴木高弘（横浜薬科大学薬学部　准教授）

鈴木珠水（獨協医科大学院看護学研究科　教授）

寺田良一（明治大学　名誉教授）

徳村雅弘（静岡県立大学食品栄養科学科環境生命科学科　助教）

中里直美（横浜薬科大学　薬剤師）

黄　琳琳（台湾正修科技大学建築と室内設計学科　准教授）

柳田徹郎（東京大学大学院工学研究科　院生）

柳沢幸雄（東京大学名誉教授）

横田俊平（横浜市立大学名誉教授, 湘南よこた医院　院長）

渡井健太郎（湘南鎌倉総合病院　免疫・アレルギーセンター部）

３．オンライン勉強会の開催

開催日時：2026年３月15日（日）13：00～16：00

主　　催：日本臨床環境医学会環境過敏症分科会,室内環境学会環境過敏症分科会, 生活環境と健康研究会

企　　画：北條祥子、黒岩義之、水越厚史、永吉雅人

ZOOM担当・記録：鈴木高弘, 浦野真弥、中里直美

＜プログラム＞

１．開会の挨拶　13：00-13：05

北條祥子（両学会環境過敏症分科会代表）

２．基調講演　13：05-13：55

座長：水越厚史（日本臨床環境医学会環境過敏症分科会副代表）

横田俊平（横浜市立大学名誉教授、日本小児科学会前理事長、湘南よこた医院院長）

「健康問題に晒される子どもたちの現状と小児医療」

３.一般講演（話題提供）

第一部　子どもの健康状況の現状と今後の展望　13：55-14：30

座長：渡井健太郎（近畿大学医学部予防医学・行動科学教室・講師）

小倉英郎（医療法人高幡会大西病院・院長）

「環境過敏症患者の男女比、成人と小児の比較検討」

角田和彦（かくたこども＆アレルギークリニック・院長）

「環境過敏症：小児科医としての臨床現場から+電磁波負荷試験の１症例」

北條祥子（尚絅学院大学・名誉教授、東北大大学院歯学研究科研究員）10分

「子どもの香害と環境過敏症状に関する全国調査：医師に診断されたことがある疾患に関する解析結果」

第二部　環境過敏症の病態解明の現状と今後の展望　14：30-15：30

座長：永吉雅人（室内環境学会環境過敏症分科会副代表）

近藤哲哉（関西医療大学保健医療学部・教授）

西谷雅史（響きの杜クリニック・院長）
「電磁波による帯電障害の症例報告」
近藤哲哉（関西医療大学保健医療学部・教授）
「電磁波曝露と五苓散、眼球、発汗について」
渡井健太郎（近畿大学医学部予防医学・行動科学教室・講師）
「化学物質過敏性における遺伝的解明と神経学的介入」
大黒亜美（広島大学大学院医系科学研究科生体機能分子動態学・准教授）
「嗅覚入力を超えて：香り物質の脳内移行と炎症機構」
黒岩義之（横浜市立大学名誉教授、帝京大学脳神経内科・客員教授）
「化学物質過敏症：臨床スペクトラムと病態仮説」

4．交流会（参加者全員からの話題提供）
15：30－15：55
座長：北條祥子（生活環境と健康研究会代表）

話題提供
参加者同士の交流を目的として、初めての参加の先生は自己紹介を含めてお一人２分、その他のメンバーはお一人１分程度で話題提供をしていただいた。

5．閉会の挨拶　黒岩義之（日本臨床環境医学会環境過敏症分科会副代表）　15：55-16：00

・機関紙「臨床環境医学」に、上記学術集会時に開催したシンポジウムの報告を発表した。

北條祥子、永吉雅人、寺田良一他：2025年度環境過敏症分科会シンポジウム「疫学・臨床・社会の３次元から見た環境過敏症研究update～病態解明、診断現場の　実態、診断と治療の最前線～」の報告、臨床環境医学,vol 34, 10-21, 2025

・情報交換・情報共有

メーリングリストを介して、日常的に共同研究や最新知見の情報交換・情報共有を行った。

・幹事会

ZOOMでの幹事会を頻繁に行った。

・社会貢献活動

社会貢献活動として、各メンバーが、夫々の場所で、環境過敏症の認知度を高める活動を行った。

【分科会メンバー（アイウエオ順）*2025年度幹事】

代表：北條祥子　副代表：黒岩義之，水越厚史
＜医学・医療分野＞
相澤好治，青木真一，東 賢一，上田 厚，
内山巌雄，大黒亜美，大澤 稔，奥村二郎，
小倉英郎，角田和彦，小橋 元，近藤哲哉，
坂部 貢，*鈴木高弘，鈴木珠水，平 久美子，
高塚俊治，高野裕久，土器屋美貴子，*中里直美，
中吉隆之，西影京子，西谷雅人，乳井美和子，
春山康夫，松井孝子，宮田幹夫，吉田貴彦，
渡井健太郎
＜建築・生物学・化学・物理学・工学・社会科学分野＞
池田耕一，一條祐介，岩崎由美子，上田昌文，
浦野真弥，川瀬晃弘，木村 - 黒田純子，
近藤加代子，寺田良一，東門田誠一，徳村雅弘，
*永吉雅人，二科妃里，長谷川麻子，林 基哉，
*黄 琳琳，星野陽子，宮嶋陽司，柳沢幸雄，
柳田徹郎，吉野 博